7-1 学外から電子ジャーナル・データベースを使う

リモートアクセスを活用しよう

名古屋大学で契約しているデータベースの中には、学外からでも電子リソース(電子ジャーナル、データベース等)を学 内と同じ環境で利用できるものがあります。

- 名古屋大学に現在在籍されている方対象のサービスです。
 ご利用には機構アカウントとパスワードが必要です。機構アカウントについては、情報連携推進本部 機構アカウント <u>https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/thersaccount/ms365start.html</u>をご覧ください。
- 提供元との契約条件により、学外から利用できない電子リソースもあります。
- 電子リソースへのアクセスは、専用ページからおこないます。アクセス方法は、以降の手順をご確認ください。

※画像は、PC での表示画面です。タブレット・スマートフォンからアクセスする場合は、一部表示が異なります。



<学外から電子リソース利用(リモートアクセス)を利用する>

く学外からの電子リソース利用(リモートアクセス)を終了する>

①利用中の電子リソースページを閉じます。画面上の[ログアウト]、[ログオフ]、[閲覧終了]などをクリックします。 (画面例: Maruzen eBook Library)



②プロキシサービスからのログアウトを行います。再度、図書館Web トップページから 「学外からの電子リソース利用」ページの「学外からの電子リソース利用・スタートページ」中の「ログアウト」をクリックします。



③機構アカウント(THERS account)からログアウトします。

[学外からの電子リソース利用・ログアウト]中の[機構アカウント のログアウト]をクリックします。

